

## ブルンジ月報（２０２０年８月）

### 主な出来事

#### 1. 内政・外政

- １７日、下院議長選出
- ２４日、南部で発生した銃撃に関しコンゴ（民）拠点の反政府組織が犯行声明
- ２５日、上院議長選出
- ２６日、ブルンジ・ルワンダの軍事情報機関ハイレベル会合開催
- ２７日、ブルンジ難民４９３人がルワンダから自主帰還

#### 2. 経済

- ４日、ＥＡＣがブルンジに対し遅滞している拠出金の支払いを要請

※以下は、明示的に記載されたものを除き、ブルンジ・オンライン・メディア IWACU の報道のとりまとめ。

#### 1. 内政・外政

##### （１）下院議長が選出（１７日）

２０２０—２０２５年の国会下院議長として、フツ族のンダビラベ（Gelase Daniel NDABIRABE）氏が選出された。第一副議長にはフツ族のンタカルティマナ（Sabine NTAKARUTIMANA）氏が、第二副議長にはツチ族のガシャトゥシ（Abel GASHATSI）氏が選出された。

##### （２）南部ブルンジで発生した銃撃に関してコンゴ（民）拠点の反政府組織が犯行声明（２４日）（BBC World Service）

南部で２３日から２４日にかけて起きた銃撃に関し、コンゴ（民）拠点の反政府組織が SNS で犯行声明を出した。ブルンジ政府高官によると、銃撃は近く予定されているルワンダ国内のブルンジ難民の帰還に関連したものと考えられる。

##### （３）上院議長が選出（２５日）（SOS Medias Burundi）

上院議長にフツ族のシンゾハゲラ氏（Emmanuel SINZOHAGERA）氏が選出された。第一副議長はフツ族のンジェバリカヌイエ（Spés Caritas NJEBARIKANUYE）氏が再選。第二副議長はツチ族のンシミリマナ（Cyriaque NSHIMIRIANA）氏。

##### （４）ブルンジ・ルワンダの軍事情報機関ハイレベル会合開催（２６日）（SOS Medias Burundi）

ルワンダとブルンジの軍事情報機関のハイレベル会合が開催され、両国関係に緊張をもたらしている国境付近の治安情勢について討議した。

##### （５）ブルンジ難民が自主帰還（２７日）（The New Times）

自主帰還要請を行っていた難民４９３人が、ルワンダのマハマ難民キャンプからバスで帰還した。

## 2. 経済

(1) E A Cがブルンジに対し遅滞している拠出金の支払いを要請 (4日)

(The East African)

E A Cはブルンジに対し、遅滞している2019/2020年度の拠出金の支払いを9月15日までにを行うよう指示した。ブルンジ側は、未払額のうち260万ドルはすでに支払い済みと報告。ブルンジのE A Cに対する未払額は、8月4日時点で650万ドル。

(了)